

第二期兵庫県地域創生戦略  
実施状況報告書  
(令和5年度)

令和6年9月

兵庫県

## 〈目 次〉

I	兵庫県地域創生戦略の概要	1
II	戦略目標の達成状況	3
III	実施状況（令和5年度）	
1	地域の元気づくり	4
	幅広い産業が元気な兵庫をつくる	6
	内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	12
	豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	17
2	社会増対策	21
	自分らしく働ける兵庫をつくる	24
3	自然増対策（子ども・子育て対策）	28
	結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	30
4	自然増対策（健康長寿対策）	34
	生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	36

# I 兵庫県地域創生戦略の概要

【 理 念 】 五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

## 【戦略の構成】

### 1 地域の元気づくり

戦略指標	重点目標	重点指標		主な項目	
<p>■一人当たり県内総生産(GDP)の伸び</p> <p>■住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合</p>	1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる	■製造品付加価値額		<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代産業の創出</li> <li>ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進</li> <li>Society5.0を牽引する産業の集積促進</li> </ul>	
		■対事業所サービス事業所数 ■企業立地件数		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中小企業の経営基盤強化</li> <li>地場産業の新たな展開への支援</li> <li>商業業務機能の集積促進</li> </ul>	
		■開業率		<ul style="list-style-type: none"> <li>有望な起業家の成長支援</li> <li>多様な主体による起業・創業の更なる支援</li> </ul>	
		■農林水産業産出額		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の経営基盤の強化</li> <li>収益性の高い林業の推進</li> <li>水産業の経営強化</li> <li>兵庫の農林水産物のブランド力強化</li> </ul>	
	2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	<p>■県内観光入込客数</p> <p>■県内観光消費額</p> <p>■宿泊者数(延べ人数)</p>	<p>■来訪者満足度</p> <p>■リピーター率(再訪意向率)</p> <p>■一日当たり県内来訪者数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外からの誘客促進</li> <li>国際ツーリズムの促進</li> <li>観光客受入基盤の整備</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>二地域居住・都市農村交流の促進</li> <li>地域再生大作戦の展開</li> <li>地域特性に応じた空き家等の有効活用</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>交流を支える交通基盤の充実</li> </ul>	
	3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	<p>■住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合</p>	<p>■住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合</p>	<p>■住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化が身近に感じられる地域づくり</li> <li>にぎわいが感じられるまちづくりの推進</li> <li>豊かな環境の保全と創造</li> </ul>
		<p>■住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心に暮らせる福祉・医療の充実</li> <li>防災・減災対策の総合的推進</li> <li>地域生活を維持する革新的技術の普及促進</li> </ul>
		<p>■英語力を有すると思われる生徒の割合</p> <p>■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合</p> <p>■将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を担う人材を育成する教育力の強化</li> <li>全員活躍社会の構築</li> <li>多文化共生社会の実現</li> </ul>

## 2 社会増対策

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■日本人の転入超過数 ■20歳代前半の若者定着率 ■外国人の増加数	4 自分らしく働ける兵庫をつくる	■20～30歳代の若者の転入超過数(日本人) ■新たに農業・林業・漁業に就いた者の数	・県内就業意識の高揚 ・地元企業と若者とのマッチング強化 ・女性活躍の推進
			・第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援 ・カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進
		■外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	・高度外国人材の受け入れ促進 ・外国人材の県内定着の促進

## 3 自然増対策(子ども・子育て対策)

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■合計特殊出生率 ■婚姻件数	5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	■結婚願望がある者の割合	・出会い・結婚支援の充実
		■住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	・妊娠・出産の不安解消 ・子育てや教育に係る負担の軽減
		■保育所等待機児童数 ■放課後児童クラブの待機児童数	・放課後等の居場所づくり ・子育て家庭を見守る地域づくり

## 4 自然増対策(健康長寿対策)

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■平均寿命と健康寿命の差 ■運動を継続している人の割合	6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	■がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 ■朝食を食べる人の割合	・疾病の予防・早期発見・早期治療の推進 ・生活習慣の改善促進
		■認知症相談医療機関の登録数の拡大	・認知症対策の推進 ・高齢者の地域生活を支える体制の強化
		■75歳以上人口に占める要介護認定率	・元気高齢者の社会参加の促進 ・定年退職後の高齢者の就業機会確保 ・高齢者の生涯学習支援

## II 戦略目標の達成状況

目 標	令和5年	
	目標	実績
<b>1 地域の元気づくり</b> ①国を上回る一人あたり県内総生産(GDP)の伸びを維持(H25比)	国を上回る伸びの維持	<b>【実質】</b> ・国 107.5 < 県 113.1 <b>【名目】</b> ・国 119.2 < 県 121.9
②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について毎年度前年を上回る	前年度(77.8%)を上回る	79.0%
<b>2 社会増対策</b> ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す日本人の転入超過数±0	▲214人	(▲7,004人) (▲8,298人) 上段：国内移動のみ (下段：国際移動含む) ※国勢調査結果が未公表のため、R5住民基本台帳人口移動報告
②20歳代の若者定着93.0%を目指す	92.8%	91.3%
③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す	20,000人	(27,600人) ※国勢調査結果が未公表のため、R5住民基本台帳人口移動報告
<b>3 自然増対策(子ども・子育て対策)</b> ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する	1.41	1.29
②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す	26,500件	19,629件
<b>4 自然増対策(健康長寿)</b> ①平均寿命と健康寿命の差を縮める 男性：1.40未満 女性：3.13未満	—	(参考：令和3年) 男性：1.39 女性：3.06
②運動を継続している人の割合を高める	65.8%	61.0%

※ KPIの評価は、目標値に対する実績値の達成率により「A」「B」「C」「D」に区分  
 A:100%以上、B:90%以上100%未満、C:70%以上90%未満、D:70%未満

※R5実績が未判明の指標は評価せず

	A		B		C		D		未判明		合計	
戦略指標	3項目	33.3%	3項目	33.3%	1項目	11.1%	1項目	11.1%	1項目	11.1%	9項目	100.0%
重点指標	3項目	10.0%	7項目	23.3%	2項目	6.7%	4項目	13.3%	14項目	46.7%	30項目	100.0%
政策アウトカム指標	21項目	28.4%	11項目	14.9%	13項目	17.6%	8項目	10.8%	21項目	28.4%	74項目	100.0%
合 計	27項目	23.9%	21項目	18.6%	16項目	14.2%	13項目	11.5%	36項目	31.9%	113項目	100.0%

### Ⅲ 実施状況(令和5年度)

## 戦略1 地域の元気づくり(ひと・まち・産業 元気プログラム)

#### 1 目標

- ①国を上回る一人当たり県内総生産(GDP)の伸びを維持する
- ②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について毎年度、前年を上回る

#### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 県民一人当たり 県内総生産 (GDP)の伸び	%	目標	—	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持	
		実績	[実質] 国104.1 県105.9 [名目] 国109.3 県110.3	[実質] 国100.4 県103.2 [名目] 国106.2 県108.7	[実質] 国104.0 県107.4 [名目] 国109.9 県112.7	[実質] 国106.1 県110.9 [名目] 国113.1 県115.2	[実質] 国107.5 県113.1 [名目] 国119.2 県121.9	
		評価	—	—/A	—/A	—/A	—/A	
2 住んでいる地域 にこれからも住 み続けたいと思 う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	77.9	75.9	75.9	77.8	79.0	
		評価	—	97.3%/B	99.9%/B	102.4%/A	101.4%/A	

#### ※【目標値達成率に対する評価】

A : 100%以上、B : 90%以上 100%未満、C : 70%以上 90%未満、D : 70%未満

#### 〈状況分析〉

- ・一人あたり GDP の伸びは、国に比べ製造業が占める割合が高く、新型コロナ禍の生産回復等もあり、堅調な伸びが続き、令和2年度以降、県が国の伸びを上回っている。
- ・住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合は、令和2～3年度はいったん下降したが、その後、回復基調で推移している。

#### 3 今後の取組方向

- 地場産業の育成や起業支援、DX等による生産性の向上、地場産業の競争力強化などの取組を強化し、持続可能な地域経済の確立に向けた取組を推進する。
- 兵庫のもつポテンシャルを活かして、魅力的でにぎわいがあるまちづくり、誰もが暮らしやすい安全安心なまちづくりなど、良好で快適な生活環境を創出する取組を推進し、県民の幸福度の向上をめざす。

【図表 県内総生産(実質GDP)の推移】

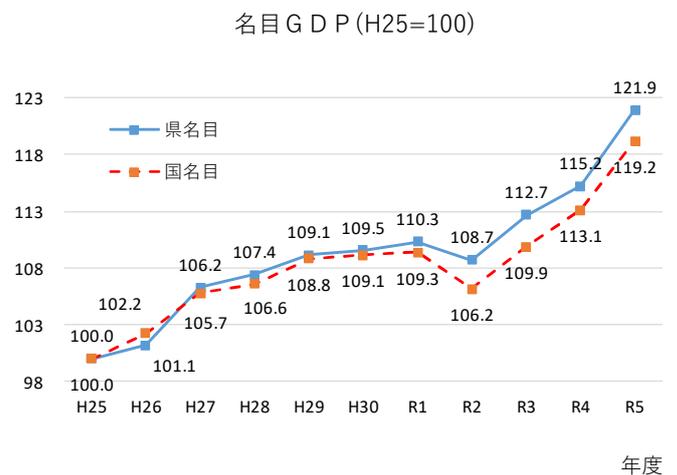
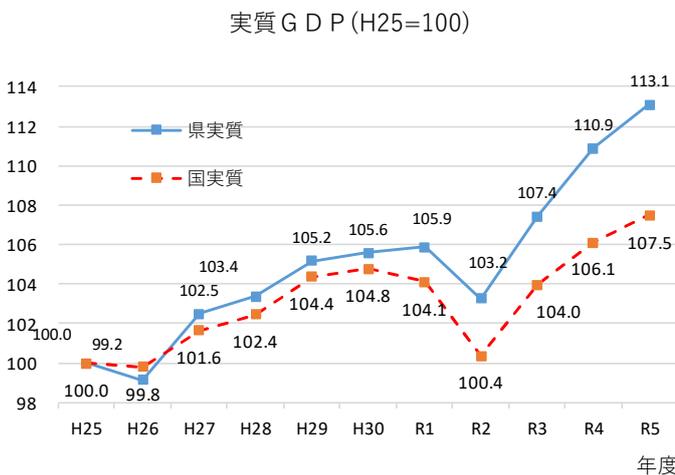
項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全国一人当たりGDP	418 万円	417 万円	424 万円	428 万円	436 万円	438 万円	435 万円	419 万円	434 万円	443 万円	449 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<99.8>	<101.6>	<102.4>	<104.4>	<104.8>	<104.1>	<100.4>	<104.0>	<106.1>	<107.5>
全国GDP(実質)	532.1 兆円	530.2 兆円	539.4 兆円	543.5 兆円	553.2 兆円	554.5 兆円	550.1 兆円	528.7 兆円	544.9 兆円	553.7 兆円	558.2 兆円
県一人当たりGDP	381 万円	378 万円	391 万円	394 万円	401 万円	403 万円	404 万円	394 万円	410 万円	423 万円	431 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<99.2>	<102.5>	<103.4>	<105.2>	<105.6>	<105.9>	<103.2>	<107.4>	<110.9>	<113.1>
県内総生産(GDP)(実質)	21.2 兆円	21.0 兆円	21.6 兆円	21.8 兆円	22.1 兆円	22.2 兆円	22.2 兆円	21.5 兆円	22.3 兆円	22.9 兆円	23.2 兆円

【図表 県内総生産(名目GDP)の推移】

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全国一人当たりGDP	402 万円	411 万円	425 万円	429 万円	438 万円	439 万円	440 万円	427 万円	442 万円	455 万円	480 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<102.2>	<105.7>	<106.6>	<108.8>	<109.1>	<109.3>	<106.2>	<109.9>	<113.1>	<119.2>
全国GDP(名目)	512.7 兆円	523.4 兆円	540.7 兆円	544.8 兆円	555.7 兆円	556.6 兆円	556.8 兆円	538.8 兆円	554.8 兆円	568.6 兆円	596.5 兆円
県一人当たりGDP	368 万円	372 万円	391 万円	395 万円	401 万円	403 万円	406 万円	400 万円	414 万円	424 万円	448 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<101.1>	<106.2>	<107.4>	<109.1>	<109.5>	<110.3>	<108.7>	<112.7>	<115.2>	<121.9>
県内総生産(GDP)(名目)	20.5 兆円	20.6 兆円	21.6 兆円	21.8 兆円	22.1 兆円	22.2 兆円	22.3 兆円	21.8 兆円	22.5 兆円	22.9 兆円	24.1 兆円

注) 県実績については、県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」による速報値。全国実績については、内閣府「四半期別GDP速報」による速報値。

【一人当たりGDPの伸び推移(平成25年度=100)】



## 重点目標 1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
				R2	R3	R4	R5
1 開業率	全国 順位	目標	—	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内
		実績	9位 4.51%	11位 5.17%	11位 4.44%	12位 3.83%	(R6.10月)
		評価	—	99.2%/B (10位県 5.21%)	98.2%/B (10位県 4.52%)	98.7%/B (10位県 3.88%)	—
2 企業立地件数 (H27～累計)	件	目標	—	1,094	1,281	1,468	1,655
		実績	894	1,051	1,262	1,429	1,571
		評価	—	96.1%/B	98.5%/B	97.3%/B	94.9%/B
3 農林水産業産出額	億円	目標	—	2,571	2,619	2,635	2,651
		実績	2,588	2,528	2,489	2,652	(R7.3月)
		評価	—	98.3%/B	95.0%/B	100.6%/A	—
4 製造品付加価値額	億円	目標	—	51,283	51,795	52,312	51,937
		実績	50,786	50,914	54,424	57,918	(R7.7月)
		評価	—	99.3%/B	105.1%/A	110.7%/A	—
5 対事業所サービス 事業所数 <sup>※2</sup>	社	目標	—	—	前回調査 を上回る	—	—
		実績	⑳1,085	—	1,036	—	—
		評価	—	—	95.5%/B	—	—

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載（以降、同様）

※2 対事業所サービス事業所数：情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

### 今後の取組方向

- 産業立地条例を核とした戦略的な企業誘致の促進、次世代エネルギーや半導体等の成長産業の振興、新しい産業クラスターの形成などにより、兵庫のものづくり産業の競争力の更なる強化を図る。
- 中小企業や地場産業のSDGsの取組に対する支援を強化するとともに、デジタル人材の育成や学生の起業支援など、若い世代が働きたいと思える雇用の場の創出を促進する。
- 農林水産業の基幹産業化をめざし、有機農業をはじめとする環境負荷を低減する持続可能な農林水産業に向けた取組や多様な人材の確保・育成、ブランド力強化による県産農林水産物の流通拡大を推進する。

## 項目1 兵庫の強みを活かした産業競争力の強化

### (1) 次世代産業の創出

主な事例	次世代の成長産業への重点支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>成長産業分野の事業拡大・新規参入を促進するため、産学官連携による本格的な研究開発への移行を目指す萌芽的な研究プロジェクトを支援(R5：13件採択)</li> <li>「成長産業育成コンソーシアム」の枠組みを活用し、新製品の社会実装を目指す県内中小企業の試作開発を支援(R5：12件採択)</li> </ul>	

### (2) ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進

主な事例	スマートものづくりセンターの運営
<ul style="list-style-type: none"> <li>県下4カ所の「スマートものづくりセンター」において産学官連携による共同研究の促進や、先端共同利用機器を活用した中小企業等への技術指導・相談、AI・IoT、ロボットの普及支援等を実施(R5共同研究：31件、R5技術相談・指導件数：387件)</li> </ul>	

### (3) Society5.0を牽引する産業の集積促進

主な事例	デジタル人材の育成、IT事業所開設等の支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫工業会と連携し、県内大学が開発した完全オンデマンド型のDX人材育成プログラムにより、県内企業のDX人材の育成を支援(R5受講数：170件)</li> <li>①高度IT事業所、②ITカリスマによる事業所の開設を支援し、多様なIT起業家等の集積を促進(R3：14件、R4：10件、R5：9件)*</li> </ul> <p>※開設支援例：(株)vizconsult(中小企業のDX推進に必要なITツールの開発・運用、コンサルティングサービス等)</p>	

### (4) 脱炭素化の推進

主な事例	県内事業者や県民による脱炭素の取組の支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料電池モビリティの普及による脱炭素化の推進を加速化するため、県内の水素ステーションの整備等を促進(水素ST、燃料電池バスともにR4年度各1件採択分がR5年度供用・運行開始)</li> <li>県内の再生可能エネルギー導入を促進するため、産業団地向けセミナー(開催回数：2回)や地域での再生可能エネルギー立ち上げ支援(R5：1件)等を実施(R4 県内再生可能エネルギー導入実績：約51億kwh)</li> </ul>	



IP・リート MK 神戸空港前  
水素ステーション

### ○主な政策アウトカム指標(上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	中小企業等に対する技術移転件数 [件]	780	800	800	800	700
			713	671	723	676
			89.1%/C	83.9%/C	90.4%/B	96.6%/B
2	県内本社企業の海外現地法人売上高 [億円] (※)	32,853	32,955	33,943	34,962	36,011
			31,123	37,645	45,145	(R7.7月)
			94.4%/B	110.9%/A	129.1%/A	-
3	県内本社企業の海外展開数 [社]	(R3) 1,050	-	-	1,050	1,050
			-	1,050	1,014	(R6.9月)
			-	-	96.6%/B	-

※海外事業活動基本調査(経済産業省)の調査票情報を独自集計したもの。

## 項目2 地域産業の振興

### (1) 地域の中小企業の経営基盤強化

主な事例	相談・助言等による中小企業支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)ひょうご産業活性化センターを中心に県内支援機関・団体とのネットワークを構築し、ワンストップで企業ニーズに対応する「中小企業支援ネットひょうご」による支援を実施</li> <li>・地域の金融機関による事業者への伴走支援(経営改善計画の作成等)に補助を行い、金融機関と協調して中小企業の経営力強化を促進(R5：9,976 事業者を支援)</li> <li>・中小企業の経営課題解決に取り組む中核人材の確保を促進するため、「ひょうご専門人材相談センター」をひょうご産業活性化センターに設置し、民間の人材ビジネス事業者と連携しながら、中小企業と専門人材のマッチングを支援(R4：125 件、R5：153 件)</li> </ul>	

### (2) 地場産業の新たな展開への支援

主な事例	地場産業における SDGs の取組への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs の視点から地場産業のブランド価値や魅力向上を図るため、SDGs の取組による商品開発及びプロモーション活動など、産地組合の取組を支援(R5：14 件)</li> <li>・中小企業の経営に SDGs の導入を促進する「ひょうご産業 SDGs 推進宣言事業」、宣言企業の更なるステップアップを図る「ひょうご産業 SDGs 認証事業」を実施し、中小企業による SDGs の取組の裾野を拡大(宣言企業 R5：1,250 社、認証企業 R5：153 社)</li> </ul>	



兵庫県靴工業組合の SDGs 商品展示とワークショップによる認知度向上(東京)

### (3) 商業業務機能の集積促進

主な事例	神戸三宮雲井通5丁目地区の再開発
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな交通結節拠点となる中・長距離バスターミナルに加え、商業機能、業務機能及び宿泊機能等からなる複合施設の整備に向け、県と神戸市による調整会議での意見交換や、再開発事業の支援を実施</li> <li>・令和元年度の市街地再開発事業の認可を経て令和9年度の完成に向けて事業を推進</li> </ul>	



神戸三宮雲井通5丁目地区のイメージ

### ○主な政策アウトカム指標(上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	地場産業の生産額(主要産地) [億円]	2,382	2,700 維持	2,700 維持	1,900 維持	1,900 維持
			1,840	2,086	(R7.3月)	(R8.3月)
			68.1%/D	77.3%/C	-	-
2	商店街活性化等によるしごと創出数 (累計)[人]	122	95	190	285	380
			76	166	236	302
			80.0%/C	87.4%/C	82.8%/C	79.5%/C
3	全国企業倒産件数に占める兵庫県の割合 [%]	—	—	—	—	5.3
			—	—	—	6.3
			—	—	—	81.1%/C

### 項目3 企業立地・投資の促進

#### (1) 雇用拡大につながる企業誘致の促進

主な事例	産業立地条例による企業誘致の促進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の活性化と雇用の創出を図るため、産業立地条例に基づき補助金(設備・雇用・賃料)や税軽減(不動産取得税・法人事業税)により企業の県内立地を支援(R5 補助団体数：延べ 101 社)</li> <li>水素をはじめとした成長産業の更なる集積や、ベイエリアの立地促進に向け、取組を拡大</li> </ul>

主な事例	首都圏企業誘致セミナーの開催
	<ul style="list-style-type: none"> <li>万博を見据えた関西への投資に注目が集まる中、兵庫の魅力を発信する「首都圏企業誘致セミナー」を開催</li> <li>「ひょうご・神戸投資サポートセンター」「兵庫県ビジネスサポートセンター・東京」でのワンストップ相談により、兵庫県への進出企業をサポート</li> </ul>



首都圏企業誘致セミナー(R5. 11. 15)

#### (2) 世界から選ばれる投資環境の整備

主な事例	外国・外資系企業立地の促進等、投資環境の整備
	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業立地条例に基づく補助金や税軽減等の優遇措置のほか、本県の投資環境を紹介したPRツールを活用し、外国・外資系企業の県内立地を促進 (外国・外資系立地件数 R3：131 件、R4：145 件、R5：156 件)</li> </ul>
	<p>【R5 進出事例】</p> <p>asap Lange Japan 株式会社 (親会社：香港)</p> <p>進出場所：神戸市中央区</p> <p>事業内容：医療用内視鏡及び外科用手術器械の輸入販売</p> <p>進出時期：R6. 2</p>



外資系企業立地促進パンフレット

#### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	企業立地件数(本社機能・事務所) (H27～累計) [件]	198	225	272	319	366
			259	338	377	412
			115.1%/A	124.3%/A	118.2%/A	112.6%/A
2	企業立地件数(外国・外資系) (H27～累計) [件]	111	142	167	192	217
			118	131	145	156
			83.1%/C	78.4%/C	75.5%/C	71.9%/C
3	企業立地件数(IT 事業所) (H27～累計) [件]	40	64	76	88	100
			52	65	74	83
			81.3%/C	85.5%/C	84.1%/C	83.0%/C
4	企業立地によるしごと創出数(本社機能・事務所) (H27～累計) [人]	1,783	1,646	1,920	2,194	2,468
			2,290	2,917	3,504	3,760
			139.1%/A	151.9%/A	159.7%/A	152.4%/A

## 項目4 起業・創業の適地ひょうごの実現

### (1) 有望な起業家の成長支援

主な事例	コワーキングスペースネットワーク会議の開催	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業による新たな価値の創出や事業拡大を図るため、県内コワーキング施設運営者間のネットワーク構築による相互連携促進と利用者への支援機能拡大に向けた「コワーキングスペースネットワーク会議」を開催 (R5実績：淡路地域、丹波地域)</li> </ul>	 <p>淡路市での開催の様子</p>

主な事例	オープンイノベーションの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業とスタートアップ等のオープンイノベーションを推進するため、オープンイノベーションに関するイベントを定期開催し、裾野の拡大を図るとともに、社会課題・地域課題解決に向けた共創による取組を支援 (R5 イベント参加者数：延べ400名超)</li> </ul>	 <p>イベントの様子</p>

主な事例	ひょうご TECH イノベーションプロジェクトの実施	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションの創出と社会課題の解決を図るため、中小企業や社会課題解決型スタートアップ事業者が有する技術を、市町等が抱える地域課題とマッチングさせる取組を実施 (R5実績：9つの課題にスタートアップをマッチング)</li> </ul> <p>【R5年度取組事例】 農業繁忙期における労働力確保[丹波篠山市×㈱タイミー]、消防団活動の担い手確保[明石市/危機管理部×パース・ビュー㈱] 放置竹林への対策[淡路県民局×㈱リーフエア]</p>	

### (2) 多様な主体による起業・創業の更なる支援

主な事例	若者の起業や地域課題からの創業への支援	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業も含め主体的に取り組む若者を育成するため、県内大学と連携した取組に加え、県内各地の中高生を対象に自ら課題を発見し、解決策を考える「ひょうごスタートアップアカデミー」を実施</li> <li>地域住民や団体等がビジネス的手法により地域課題解決を図る取組を支援する拠点として「地域しごとサポートセンター」を県内6箇所に設置</li> </ul>	 <p>ひょうごスタートアップアカデミーのうち R5年度スタートアップチャレンジ甲子園</p>

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	開業事業所数 [件]	11,287 ※H28	-	15,700	-	-
			-	1,675	(R8.12月)	(R8.12月)
			-	10.7%/D	-	-
2	開業事業所数(本所・本社・本店) [件]	891 ※H28	-	1,600	-	-
			-	85	(R8.12月)	(R8.12月)
			-	5.3%/D	-	-
3	起業プラザひょうごの会員数(エリア拠点含む) [人]	92	150	150	150	150
			145	191	195	229
			96.7%/B	127.3%/A	130.0%/A	152.7%/A
4	コワーキング・スペース開設件数(累計) [件]	19	27	35	43	51
			28	34	38	44
			103.7%/A	97.1%/B	88.4%/C	86.3%/C

## 項目5 農林水産業の基幹産業化の推進

### (1) 農業の競争力強化

主な事例	スマート農業の推進・多様な担い手の確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産コストの上昇を踏まえ、スマート農業普及による低コスト化・生産性向上等を図るため、産地内のスマート農業機械のシェアリングを行うグループ形成を支援(R5：3件)</li> <li>企業活力の更なる活用のため、企業ニーズに即した柔軟な伴走支援を実施し、農業者との連携を通じた地域農業への継続的な参画を促進</li> </ul>	

### (2) 収益性の高い林業の推進

主な事例	主伐による原木の安定供給や再造林の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>主伐による持続的な原木供給と、その後の再造林や保育を確実に実行するため、施業にかかるコスト等のデータ収集・分析を実施し、低コストで効率的な「主伐・再造林低コスト普及モデル」を構築(R3：33ha、R4：31ha、R5：37ha)</li> </ul>	

### (3) 水産業の経営強化

主な事例	養殖ノリのクレジット化に向けた検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国トップレベルの生産量を誇る養殖ノリのブルーカーボンとしての可能性を検討するとともに、生産過程のCO<sub>2</sub>削減の取組の推進による脱炭素型の「兵庫ノリ」のブランディングを検討</li> </ul>	

### (4) 兵庫の農林水産物のブランド力強化

主な事例	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外における日本食人気の広がり等を県産品の輸出を進める好機と捉え、香港、マレーシア、タイ、フランスをターゲットに、百貨店等でのテスト販売やバイヤー向け商談会の開催などのプロモーションを実施(R4：26事業者・60品目、R5：31事業者・57品目)</li> </ul>	



百貨店でのテスト販売の様子

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	農業産出額(畜産含まず) [億円]	940	1,005	961	967	974
			886	866	960	(R7.3月)
			88.2%/C	90.1%/B	99.3%/B	-
2	畜産産出額 [億円]	569	555	614	617	620
			592	635	622	(R7.3月)
			106.7%/A	103.4%/A	100.8%/A	-
3	林業・木材産業産出額 [億円]	594	590	594	596	598
			562	575	582	(R6.9月)
			95.3%/B	96.8%/B	97.7%/B	-
4	漁業産出額 [億円]	485	471	450	455	459
			488	412	488	(R7.3月)
			103.6%/A	91.6%/B	107.3%/A	-
5	海外市場開拓数(品目毎累計) [国・地域]	143	150	160	170	180
			153	163	173	183
			102.0%/A	101.9%/A	101.8%/A	101.7%/A

## 重点目標 2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 県内観光消費額	億円	目標	—	14,200	14,700	15,200	R9に 14,500	
		実績	13,114	6,821	8,232	11,427	(R6.9月)	
		評価	—	48.0%/D	56.0%/D	75.2%/C	—	
2 宿泊者数(延べ人数)	万人	目標	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190	—	R9に 1,800 うち外国人 300	
		実績	1,442 うち外国人 <sup>⑩</sup> 137	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5	1,263 うち外国人 13	1,513 うち外国人 102	
		評価	—	61.9%/D 外国人 10.9%	58.6%/D 外国人2.6%	—	—	
3 来訪者満足度	%	目標	—	72	73	—	R9に 80	
		実績	62.6	72.9	66.1	63.3	62.9	
		評価	—	101.3%/A	90.5%/B	—	—	
4 リピーター率(再訪意向率)	%	目標	—	52	53	—	R9に 70	
		実績	<sup>⑩</sup> 50.0	53.5	58.5	61.9	57.6	
		評価	—	102.9%/A	110.4%/A	—	—	
5 一日当たり県内来訪者数	千人	目標	—	373	381	394	402	
		実績	353	336	274	326	(R7.5月)	
		評価	—	90.1%/B	72.0%/C	82.7%/C	—	

### 今後の取組方向

- 万博開催に向け、フィールドパビリオンの磨き上げや魅力発信を強化し、万博後も見据えた持続的な展開を図るとともに、兵庫テロワール旅やユニバーサルツーリズムの推進による国内外・県内外からの誘客を強化する。
- 多様な主体との連携による地域課題解決の取組や持続可能な多自然地域づくりを進めるとともに、都市農村交流の推進や空き家の利活用の促進、交通基盤の整備等により地域の元気づくりと定住人口・交流人口の増加につなげる。

## 項目6 多様な主体の連携による活力創出

<p>主な事例</p>	<p>「ひょうご SDGs Hub」を活用した SDGs の推進</p>	
<p>・ 県内企業や団体、教育機関など多様な主体が連携し、「オール兵庫」で社会的課題の解決と地域活性化の両立を図る公民連携組織として設置した「ひょうご SDGs Hub」を軸として、SDGs を「知る」「取り組む」「つながる」事業を展開(R6.3月末現在：607 団体)</p> <p>【R5 主な事業例】 ひょうご SDGs Hub 公式サイトの開設 「SDGs 先進国デンマークに学ぶ、幸せで充実した暮らし」の開催 等</p>		 <p>「SDGs 先進国デンマークに学ぶ、幸せで充実した暮らし」(R6.1.21)</p>
<p>主な事例</p>	<p>寄附獲得に向けたファンドレイジングの展開</p>	
<p>・ 企業版及び個人版ふるさと納税制度等の効果的な活用を踏まえ、「寄附を通じて地域社会に貢献したい」という寄付者の思いと課題解決を図るプロジェクトを結びつけるため、県内外企業への訪問や PR 動画の制作等、積極的な渉外活動を展開(R5 寄附実績額：11.4 億円)</p> <p>【R5 主なプロジェクト事例】 兵庫県立大学応援プロジェクト ひょうごウクライナ避難民生活支援プロジェクト 等</p>		 <p>株式会社オーエムツーミートへの 知事感謝状贈呈式</p>
<p>主な事例</p>	<p>地域×企業×大学のひょうご絆プロジェクト</p>	
<p>・ Z世代の感性や能力、企業のノウハウやテクノロジーを活用し、多自然地域の課題解決に向けて、地域団体と、大学や企業等が連携して実践する地域づくり活動を支援するとともに、それらの取組みの拡大を図るためマッチング等の場づくりを実施</p> <p>【R5 主な事業例】 マッチングイベント「HYOCON」の開催 (3回/年) 連携活動支援 (12市町/14地域)</p>		 <p>マッチングイベント「HYOCON」</p>

## 項目7 地域資源を活かした交流人口の拡大

### (1) 県内外からの誘客促進

主な事例	「ひょうごフィールドパビリオン」等の展開	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうごフィールドパビリオンを構成する SDGs 体験型地域プログラムを認定 (R6.3 時点で 211 件)。うち 9 件をプレミア・プログラムとし、積極的に県内外へのプロモーションを実施</li> <li>・兵庫テロワール旅を基軸とした観光ブランド力を高めるため、観光コンテンツの磨き上げや受入環境の充実を支援</li> </ul> <p>【R5 主な実績例】 受入環境充実支援としてパンフレット多言語化費用の一部を補助</p>		 <p>豪州商談会の様子 (海外プロモーション)</p>

### (2) 国際ツーリズムの促進

主な事例	インバウンド誘客に向けた海外プロモーション	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの増加や神戸空港の国際化などを見据え、県内の魅力ある体験コンテンツの造成及びターゲット国の趣向や興味に応じたプロモーションを展開</li> </ul>		 <p>禅坊靖寧(淡路市)でファームリップを実施</p>

### (3) 観光客受入基盤の整備

主な事例	ユニバーサルツーリズムの推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や障害の有無に関わらず様々な人が気兼ねなく旅行を楽しむユニバーサルツーリズムを推進するため、全国初のユニバーサルツーリズム推進条例に基づき、宿泊施設へのソフト・ハード支援などによる受入体制の強化や、モニターツアーなどによる情報発信等を実施 (R5 ユニバーサルなお宿実績：登録施設 44、宣言施設 95)</li> </ul>		 <p>車いす利用者のモニターツアー</p>

### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	周遊・体験等のコンテンツの開発件数 [件]	—	50	80	100	110
			55	87	103	118
			110.0%/A	108.8%/A	103.0%/A	107.3%/A
2	海外プロモーション数(累計) [件]	49	61	73	85	97
			57	66	78	90
			93.4%/B	90.4%/B	91.8%/B	92.8%/B

## 項目8 定住人口・関係人口の創出・拡大

### (1) 二地域居住・都市農村交流の促進

主な事例	交流・関係人口の創出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係人口の創出・拡大に向け、多自然地域の地域活動等への参加者受入のコーディネートを行う「ひょうご関係人口案内所」を設置 (R5登録者：651名)</li> </ul>

### (2) 持続可能な多自然地域づくりの推進

主な事例	持続可能な多自然地域づくりに取り組む市町の取り組みを支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情や市町のコミュニティ施策を踏まえた集落対策や地域対策の立ち上げに取り組む市町に対して支援を実施(R5支援数：4件)</li> <li>市町の地域伴走支援体制の立ち上げに対し支援を実施(R5支援数：2件)</li> <li>地域づくり支援人材の育成のため、市町職員および地域再生アドバイザー向けの研修を実施するとともに、地域づくりを進める上で有効な「集落の将来を考える・状況診断ツール」を作成</li> </ul>

### (3) 地域特性に応じた空き家等の有効活用

主な事例	空き家等の活用促進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家等活用促進特別区域(特区)を指定し、特区における空家の流通・活用に繋がる規制緩和や、古民家の地域交流施設への再生に係る支援を実施(R4指定：2地区、R5指定：3地区)</li> <li>空き家を住宅、事業所又は地域交流拠点として活用する場合の改修工事費を支援し、空き家の活用を促進</li> </ul>



【加西市宇仁地区】農家住宅と事業所、田園風景が一体となった景観

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	ひょうごe-県民制度登録者数 [人]	31,076	50,000	65,000	80,000	90,000
			52,159	74,999	79,627	82,725
			104.3%/A	115.4%/A	99.5%/B	91.9%/B
2	地域おこし協力隊活動者数 (退任後も含む)[人]	178	190	195	200	205
			247	266	305	346
			130.0%/A	136.4%/A	152.5%/A	168.8%/A
3	空き家活用例数(県・市町の統合指標) [件]	231	100	100	100	100
			324	310	380	354
			324.0%/D	310.0%/D	380.0%/A	354.0%/A

## 項目9 交流を支える交通基盤の充実

### (1) 交流を支える交通基盤の充実

主な事例	高規格道路ネットワークの整備推進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨道(延長 12.1km)のうち、加古川中央ジャンクション～八幡三木ランプの 7.7km が開通。R5 年度は全線開通に向けて工事を推進</li> <li>山陰近畿自動車道「城崎道路」((仮称)豊岡北 JCT・IC～(仮称)城崎温泉 IC)について、R5 年度に国権限代行事業による新規事業化が決定</li> <li>播磨臨海地域道路では、R5. 11～12に都市計画決定に向けた住民説明会(本線・JCT・IC)を実施(5市1町、計32回)</li> </ul>	
		東播磨道(北工区)

主な事例	県内空港の活用による交流人口の拡大	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空業界を取り巻くトピックスセミナーの開催を通じ、関西 3 空港の魅力や可能性を広く発信することで最大活用に向けた地元機運を醸成</li> <li>但馬地域の交流人口拡大を目指し、コウノトリ但馬空港と松山空港を結ぶチャーター直行便ツアーを実施</li> </ul>	
		松山空港から到着した旅行者

主な事例	JR ローカル線維持・利用促進に向けた取組	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR ローカル線の利用促進を図るため、鉄道利用者への助成や、鉄道利用を促す各種イベントを実施</li> <li>上記に加え、路線バス・コミュニティバスの支援、デマンド型乗合交通の実証実験に対する支援等による2次交通の充実を推進</li> </ul>	
		乗って残そう乗車デイ (R5. 10. 15 加古川線にて実施)

### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	基幹道路延長に対する供用延長割合 (累計) [%]	82	83	84	84	84
			83	84	85	85
			100.0%/A	100.0%/A	101.2%/A	101.2%/A
2	但馬空港の旅客数 [万人]	4.1	4.7	3.1	4.5	4.7
			1.6	2.1	3.0	3.9
			34.0%/D	67.7%/D	66.7%/D	83.0%/C

## 重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 住んでいる市町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合 ※R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	38.2	38.2	37.1	39.0	37.6	
		評価	—	100%/A	97.1%/B	105.1%/A	96.4%/B	
2 住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思ふ人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	73.2	71.8	72.8	69.6	68.8	
		評価	—	98.0%/B	101.0%/A	95.6%/B	98.9%/B	
3 CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語力を有すると思われる中学3年生の割合 CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語力を有すると思われる高校3年生の割合	%	目標	—	42	44	46	50	
		実績	㊸40.8	44.2	41.6	46.2	42.3	
		評価	—	105.2%/A	94.5%/B	100.4%/A	84.6%/C	
	%	目標	—	50	50	50	50	
		実績	㊸48.5	52.9	53.8	54.8	57.2	
		評価	—	105.8%/A	107.6%/A	109.6%/A	114.4%/A	
4 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	小学校： 84.6% 中学校： 69.7%	(全国調査中止)	小学校： 80.5% 中学校： 66.8%	小学校： 79.7% 中学校： 65.5%	小学校： 81.4% 中学校： 65.1%	
		評価	—	—	—	小学校 99.0%/B 中学校 98.1%/B	小学校 102.1%/A 中学校 99.3%/B	
5 将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	%	目標	—	67	68	69	70	
		実績	64.7	68.4	68.9	67.5	66.5	
		評価	—	102.1%/A	101.3%/A	97.8%/B	95.0%/B	
6 住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思ふ人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	37.6	42.3	43.1	42.5	40.0	
		評価	—	112.2%/A	101.7%/A	98.6%/B	94.1%/B	
7 住んでいる地域の自然環境は守られていると思ふ人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	47.3	52.1	47.5	53.4	55.2	
		評価	—	109.9%/A	91.2%/B	112.4%/A	103.3%/A	

### 今後の取組方向

- 県民が生活のしやすさや心豊かな暮らしを感じられるよう、芸術文化を身近に感じる地域づくりや確かな学力・豊かな心を育成する次代を担う人づくり、にぎわいや安全安心を感じられるまちづくりを推進する。

## 項目10 豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり

### (1) 芸術文化が身近に感じられる地域づくり

主な事例	芸術文化に親しむ機会の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の芸術文化に触れる機会の充実のため、県内の芸術文化施設を無料開放等する「ひょうごプレミアム芸術デー」について、市町、民間施設へも拡大しつつ、障害のある方や子育て中の方にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施(R5 実施期間：7/11～7/17)</li> <li>・ 伝統文化に触れる機会の充実のため、「伝統文化ふれあい広場」の開催や、県内の小・中・高校に講師を派遣する体験教室を実施</li> </ul>	 <p>ひょうごプレミアム芸術デー</p>

### (2) にぎわいが感じられるまちづくりの推進

主な事例	オールドニュータウンの再生や県立都市公園のあり方検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民組織による自主的運営の実現に向け、明舞団地をモデルとして進めることで、地域主体の再生モデルの一つとして、他のニュータウンへの普及を促進</li> <li>・ 「県立都市公園のあり方検討会」にて、自然環境保全や活性化について検討を実施し、公園の新たな価値を生み出す共創の促進等の提言書を検討会から県に対して交付</li> </ul>	 <p>明舞団地内建物のリノベーションにより整備した民営図書室</p>

### (3) 豊かな環境の保全と創造

主な事例	豊かな海づくりの推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「兵庫県栄養塩類管理計画(R4.10策定)」に基づき、計画的な栄養塩類供給に伴う水質の状況検証や栄養塩類増加措置実施者の追加、新たな栄養塩類供給方策の調査・研究等を実施</li> <li>・ 豊かで美しい海の創出と継承に向けた取組を推進するため、「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を設立し、県民参加型イベントを支援する等、官民連携による県民総参加の運動を展開</li> </ul>	 <p>ひょうご豊かな海づくり推進大会</p>

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	舞台芸術のアウトリーチ活動の実施回数 [回]	65	73	75	76	77
			38	60	65	60
			52.1%/D	80.0%/C	85.5%/C	77.9%/C
2	住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合 [%]	55.0	56	57	58	59
			57.0	57.5	53.5	52.4%
			101.8%/A	100.9%/A	92.2%/B	88.8%/C
3	住んでいる地域で自慢したい地域の宝 (風景・産物・文化等)があると思う人の割合 [%] ※R4～ 市町→地域に変更	51.6	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			55.2	54.3	42.4	42.0
			106.9%/A	98.3%/B	78.0%/C	99.1%/B
4	人口集中地区の緑地率 [%]	24.6 ※H30	24.2	-	-	R7 25.0
			24.6	-	-	(次回 R7)
			101.7%/A	-	-	

## 項目11 安全安心で、快適に暮らせる地域づくり

### (1) 安全安心に暮らせる福祉・医療の充実

主な事例	地域医療体制の充実
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に定着する医師の増加や地域偏在の解消を図るため、神戸大学、兵庫医科大学等において、へき地等勤務医師を養成し、医師が不足する地域へ派遣(R4:131人、R5:145人)</li> <li>・産科医不足や分娩取扱医療機関が減少する一方、晩産化等によるリスクのある妊娠や低体重児の出産割合が増加する中で、安心して妊娠・出産できる体制の検討を進めるため、産科医療研究会を設置</li> </ul>

### (2) 防災・減災対策の総合的推進

主な事例	自然災害に備える強靱な県土の構築
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7月豪雨やR元年東日本台風等、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、「河川対策アクションプログラム」に基づき、河川の事前防災対策を重点的に推進</li> <li>・南海トラフ地震による津波に備えるため、「津波防災インフラ整備計画」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な津波対策を計画的に推進</li> </ul>



地下貯留管整備 津門川(西宮市)

### (3) 地域生活を維持する革新的技術の普及促進

主な事例	ドローン等の革新的技術の普及促進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害時の鉄道会社による線路点検を安全かつ効率的に行うため、営業線での線路直上遠隔自動操縦の実証飛行を実施</li> <li>・ドローン目視外飛行の現状と今後の展望についての啓発活動の一環として、「DRONE HYOGO セミナー」を開催</li> </ul>



線路直上でのドローン自動飛行

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	へき地等勤務医師の養成数 [人]	217	236	246	263	263
			236	246	262	274
			100.0%/A	100.0%/A	99.6%/B	104.2%/A
2	治安が良く安心して暮らせると思う人の割合 [%]	79.4	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			82.8	79.6	70.3	64.5
			104.2%/A	96.1%/B	88.3%/C	91.7%/B
3	災害に備えて飲料水や食料品の備蓄をしている人の割合 [%]	74.4	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			76.4	77.7	78.5	74.5
			102.6%/A	102.0%/A	101.0%/A	94.9%/B

## 項目 12 次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり

### (1) 次代を担う人材を育成する教育力の強化

主な事例	STEAM 教育や学習環境の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外で活躍する「未来を創造する力を備えた人材」を育成するため、文理を横断した新しい学び(STEAM 教育)についてモデル校での実践を踏まえて、本格的な取組を開始</li> <li>シビックプライドの醸成や充実した学校生活に資する環境整備として、授業や部活動で使用する用具・備品等の整備を実施</li> </ul>		 <p>STEAM 教育の実践</p>

### (2) 全員活躍社会の構築

主な事例	パラスポーツの推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の本県開催に向けて、パラアスリートと小中高生との交流や体験イベント、出前講座の実施等を通じた障害やパラスポーツへの理解促進、パラアスリートへの専門的指導や育成支援等の取組を強化</li> </ul>		 <p>第2回パラアスリート交流会・パラスポーツ体験会</p>

### (3) 多文化共生社会の実現

主な事例	誰もが暮らしやすい生活基盤づくり	
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での日常生活に不慣れな外国人県民の生活相談ニーズ等に応えるため、ひょうご多文化共生総合相談センターを設置・運営し、相談員等による対応言語のほか、電話による外部通訳等を活用した 11 言語で対応</li> <li>災害時・緊急時に県等が発信する情報等を翻訳し、外国人県民に多言語で情報伝達できる環境を整備。また、市町や外国人コミュニティ、外国人雇用企業等と連携して地域におけるネットワークづくりを推進</li> </ul>		 <p>ひょうご多文化共生総合相談センターでの相談の様子</p>

### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	英語の勉強が好きだと回答した生徒の割合 [%]	56.7	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			-	57.9	-	53.0
			-	-	-	91.5%/B
2	キャリアノート等を中学校へつなげている学校の割合 [%]	63.1	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			75.6	93.4	100.0	100.0
			119.8%/A	123.5%/A	107.1%/A	100%/A
3	企業等に勤める外部人材を招いた授業(講演会を除く)を実施した学校の割合 [%]	—	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			53.1	55.1	66.0	71.4
			-	103.8%/A	119.8%/A	108.2%/A
4	仕事と生活の調和推進企業認定件数(累計) [社]	244	300	360	420	480
			300	365	437	510
			100.0%/A	101.4%/A	104.0%/A	106.3%/A
5	就労系障害福祉サービス利用者数(累計) [人]	16,471	17,372	19,094	20,278	21,565
			17,446	18,451	20,580	(R6.11月)
			100.4%/A	96.6%/B	101.5%/A	-
6	障害者雇用率(法定雇用率) [%]	2.20	2.20	2.30	2.30	2.30
			2.21	2.25	2.28	2.36
			100.5%/A	97.8%/B	99.1%/B	102.6%/A
7	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合 [%]	25.7	26	27	28	29
			29.5	30.5	23.0	22.7
			113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C	78.3%/C

## 戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

### 1 目標

- ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ②20歳代前半の日本人若者の県内定着率93.0%を目指す
- ③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

### 2 達成状況

戦略指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間			
					R2	R3	R4	R5
1	日本人の転入超過数	人	目標	—	▲4,449	▲2,669	▲1,068	▲214
			実績	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990	▲7,004
			評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D
2	20歳代前半の若者定着率93.0%を目指す	%	目標	—	92.2	92.4	92.6	92.8
			実績	92.0	91.5	91.5	91.4	91.3
			評価	—	99.2%/B	99.0%/B	98.7%/B	98.4%/B
3	外国人の増加数（累計）	人	目標	—	5,000	10,000	15,000	20,000
			実績	1,222（単年）	3,446	4,126	17,080	27,600
			評価	—	68.9%/D	41.3%/D	113.9%/A	138.0%/A

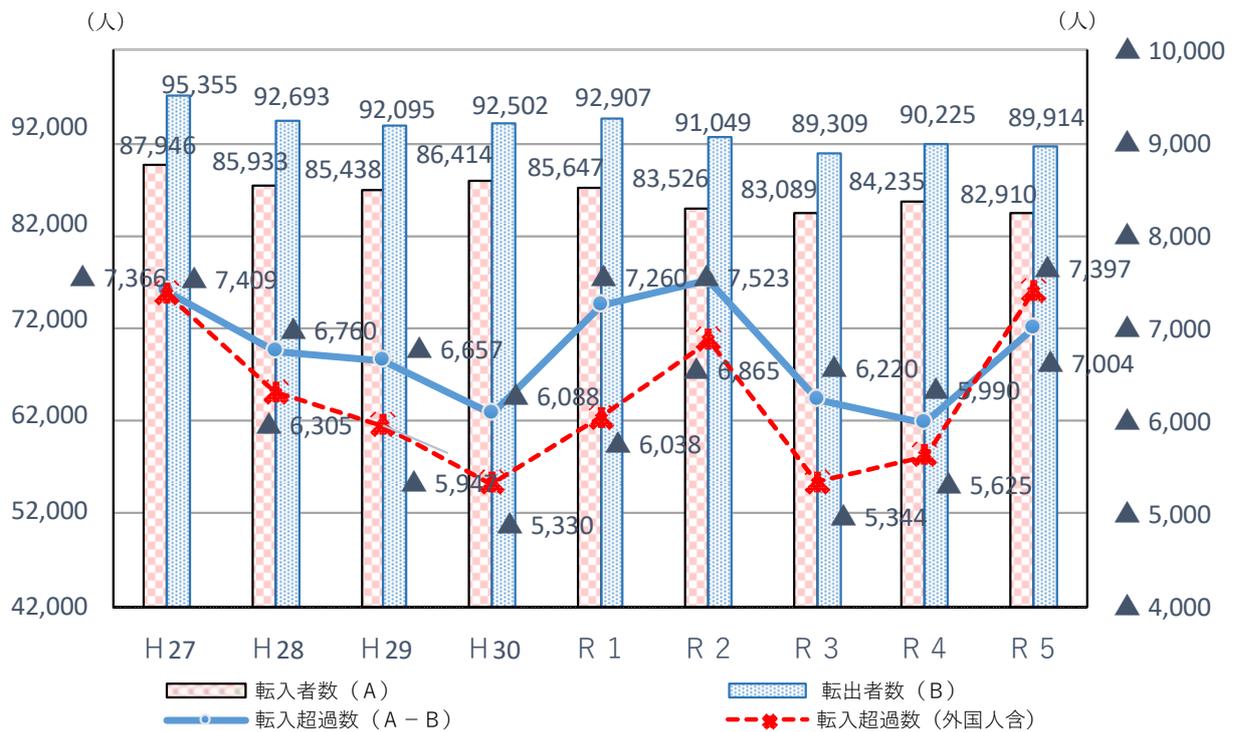
#### <状況分析>

- ・令和5年住民基本台帳移動報告における日本人の社会減（国際移動含む）は▲7,004人で、平成24年以降転出超過が継続。
- ・新卒者の就職に伴う転出が大きな要因となり、20歳代前半の若者定着率はほぼ横ばいで推移。
- ・コロナ禍での入国制限で留学生や技能実習生の流入が滞っていたが、5類感染症への移行と入国制限緩和により、外国人転入者数は回復。

### 3 今後の取組方向性

- 依然として20代を中心に転出超過が続いており、県内就職の促進や教育の負担軽減、子育て世帯対象にした住宅施策の推進など若者・Z世代への応援施策を総合的に展開する。

## 【兵庫県の転出入の状況】



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

## 【人口移動（社会増減）の推移（日本人）】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転入超過 (A-B)	▲ 7,409	▲ 6,760	▲ 6,657	▲ 6,088	▲ 7,260	▲ 7,523	▲ 6,220	▲ 5,990	▲ 7,004
転入数 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	83,526	83,089	84,235	82,910
転出数 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	91,049	89,309	90,225	89,914
転入超過(国際移動を含む)	-	-	-	-	-	▲ 4,735	▲ 6,429	▲ 7,033	▲ 8,298

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

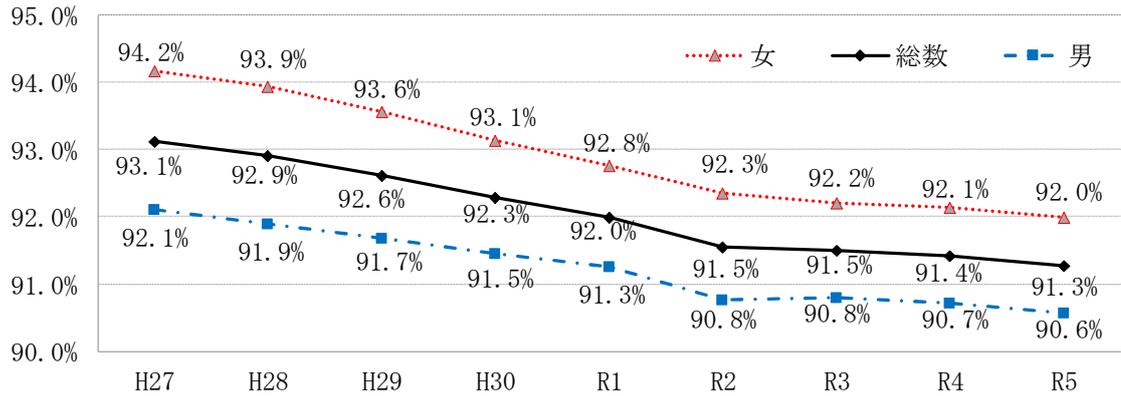
## 【対東京圏・大阪府・西日本の転入超過の状況】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
東京都	▲ 4,955	▲ 4,606	▲ 4,742	▲ 5,260	▲ 5,465	▲ 3,904	▲ 3,631	▲ 3,769	▲ 4,246
東京圏	▲ 7,490	▲ 7,203	▲ 7,356	▲ 8,102	▲ 8,716	▲ 6,315	▲ 5,521	▲ 5,765	▲ 6,897
大阪府	▲ 2,240	▲ 2,069	▲ 1,791	▲ 2,134	▲ 3,302	▲ 4,579	▲ 2,812	▲ 2,824	▲ 4,078
西日本	2,372	2,717	2,142	3,333	3,441	2,281	2,071	1,897	2,945

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

(注：東京圏＝東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県　西日本＝兵庫県以西)

### 【20歳代前半の若者の県内定着率(日本人)の推移】



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数(20~24歳)	291,823	284,552	278,325	273,482	269,343	268,020	265,025	264,519	264,023	265,294	263,157	263,321	261,000	258,987
他自治体への転出者数	16,118	15,898	16,245	16,832	17,043	18,430	18,814	19,549	20,367	21,227	22,244	22,395	22,392	22,609
転出率	5.5%	5.6%	5.8%	6.2%	6.3%	6.9%	7.1%	7.4%	7.7%	8.0%	8.5%	8.5%	8.6%	8.7%
定着率	94.5%	94.4%	94.2%	93.8%	93.7%	93.1%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.5%	91.5%	91.4%	91.3%

(出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「住民基本台帳人口移動報告」)

### 【外国人の人口移動(社会増減) 転入超過の推移】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転入超過(A-B)	43	455	710	758	1,222	658	876	365	▲ 393
転入(A)	5,153	5,711	7,100	7,631	9,001	7,646	8,500	10,334	10,014
転出(B)	5,110	5,256	6,390	6,873	7,779	6,988	7,624	9,969	10,407
転入超過(国際移動含む)	-	-	-	-	-	3,446	680	12,954	10,520

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

## 重点目標 4 自分らしく働ける兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
				R2	R3	R4	R5
1 20～30歳代の若者の 転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲6,112	▲4,584	▲3,056	▲1,528
		実績	▲7,640	▲8,858	▲7,682	▲7,988	▲8,294
		評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D
2 新たに農業、林業、 漁業に就いた者の 数	人	目標	—	480	375	375	375
		実績	325	399	371	382	(R6.9月)
		評価	—	83.1%/C	98.9%/B	101.9%/A	—
3 外国人材(専門的・ 技術的分野、特定 技能、技能実習生) の受入数	人	目標	—	19,230	23,100	27,100	31,000
		実績	19,737	21,559	21,050	23,957	28,783
		評価	—	112.1%/A	91.1%/B	88.4%/C	92.8%/B

### 今後の取組方向

- 人手不足や若者世代の流出を踏まえ、多様な人材確保に向けた取組や高校生の県内就職、理工系学生と県内中小製造業とのマッチングなどにより若者の働く場を創出・確保するとともに、移住相談体制の充実、空き家・古民家の活用促進など兵庫へのU J Iターンを促進し、若者の県内定着に向けた取組を推進する。
- 農林水産業の就業希望者への支援などによる担い手育成、県産農林水産物の付加価値向上や有機農業の拡大等の取組により農林水産業の基幹産業化や持続的発展、農村地域の振興を推進する。
- 女性、外国人など多様な人材が活躍できる環境づくりを推進するとともに、外国人の地域でのくらしの質の向上や地域住民等との共生に向けた取組を推進する。

## 項目1 地元就業の促進

### (1) 県内就業意識の高揚

主な事例	高校・大学と連携した取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業とのマッチング会を開催(参加学生 R4：525人、R5：538人)</li> <li>・ 県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校に配布(R4：238校44千冊、R5：238校3.6千冊)。また、大学生対象のWEB版ガイドブックも作成し情報発信を強化</li> </ul>	

### (2) 地元企業と若者のマッチング強化

主な事例	県内企業と若者のマッチング強化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の人材確保や県内定着、経済的支援として、県内中小企業等と連携し、若手従業員を対象とした奨学金返済支援制度を創設し、就職後一定期間は県と企業で負担することで人材確保を推進</li> <li>・ 県内企業の知名度向上と企業研究による県内就職への意識醸成のため、大学と連携した企業見学会をモデル的に実施し、授業の一環として県内企業を知る機会を提供</li> </ul>	
	 <p>奨学金返済支援制度</p>

### (3) 女性活躍の推進

主な事例	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定制度の普及推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性活躍に積極的に取り組む企業を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)」として認定し、若者等にPRすることで、県内企業の就職を促進(R5認定企業数：69社)</li> <li>・ ミモザ企業応援アドバイザーの設置や、ミモザ企業と県内女子大生との交流会実施等、制度自体の普及啓発もあわせて実施</li> </ul>	
	 <p>【知事×企業×学生セッション】</p>

### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	県内大学生の県内就職希望率 [%]	65.5	66	67	68	69
			66.0	72.8	75.6	73.9
			100.0%/A	108.7%/A	111.2%/A	107.1%/A
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率 [%]	28.2	33	33	33	33
			29.8	29.4	28.8	28.2
			90.3%/B	89.1%/C	87.3%/C	85.5%/C
3	若者(20歳代)の転入超過数 [人]	▲7,098	▲5,678	▲4,259	▲2,839	▲1,420
			▲8,832	▲7,962	▲8,327	▲8,578
			—/D	—/D	—/D	—/D
4	若年女性(20歳代)の転入超過数(上記の内数) [人]	▲2,890	▲2,312	▲1,734	▲1,156	▲578
			▲3,697	▲3,117	▲3,513	▲3,670
			—/D	—/D	—/D	—/D
5	中小企業における「一般事業主行動計画」(女性活躍に関する目標・取組)の策定率(累計) [%]	3.1	50	60	100	100
			4.9	17.5	99.3	98.7
			9.8%/D	29.2%/D	99.3%/B	98.7%/B
6	農業分野のしごと創出数 [人]	243	400	300	300	300
			299	268	270	(R6.9月)
			74.8%/C	89.3%/C	90.0%/B	-

## 項目2 UJI ターンの促進

### (1) 第二新卒者等、若年層のUJI ターンの支援

主な事例	「カムバックひょうご就職支援センター」の設置
<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏における兵庫県への移住促進の拠点「カムバックひょうご東京センター」に、民間事業者に運営を委託した就職相談窓口を併設し、UJI ターン就職に関するPR強化や、ニーズを踏まえたイベント等を実施 (R5 相談件数：424 件)</li> </ul>	 <p>就職相談の様子</p>

主な事例	首都圏在住の求職者や学生等に対する県内就職の促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひょうごで働こう! マッチングサイト」の運営をはじめ、首都圏の学生等の県内就職促進、移住支援金の子育て世代加算の拡充による東京 23 区からの就業・移住の促進を強化</li> <li>首都圏在住の求職者等の県内企業への職場体験を支援するとともに、首都圏参加者を正規採用した企業に対して支援金を支給</li> </ul>	 <p>ひょうご仕事 GPS! の様子</p>

### (2) カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進

主な事例	移住・定住に向けた「カムバックひょうごセンター」の運営
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍を契機とした地方回帰志向の高まりや、近年の本県におけるファミリー層の転入超過傾向等の機を踏まえ、東京・神戸・大阪に設置している移住相談窓口「カムバックひょうごセンター」の体制を強化※するとともに、主に首都圏の関心層をターゲットとしたオンラインセミナーの民間委託化・回数の充実等を図り、県内地域の魅力PRを強化 ※東京窓口の相談員を増員(1→2名)、大阪窓口の相談日を拡充 等</li> <li>兵庫に関心を持つ方なら誰でも登録可能な「ひょうご e-県民制度」を運営し、若者・子育て世代に向けた地域の魅力発信や、SNS を活用した情報発信を実施</li> </ul>	 <p>カムバックひょうご東京センター</p>  <p>ふるさと回帰移住フェア(東京)の様子</p>

### ○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	県の支援による UJI ターン就職者数 [人]	722	650	700	750	800
			677	774	1,086	1,074
			104.2%/A	110.6%/A	144.8%/A	134.3%/A
2	カムバックひょうごセンター移住相談 件数 [件]	5,880	5,800	6,400	7,000	7,600
			798	1,180	888	1,037
			13.8%/D	18.4%/D	12.7%/D	13.6%/D
3	移住施策によって県外から転入した人 の数(累計/県・市町の統合指標) [人]	674	400	800	1,200	1,600
			913	1,671	2,704	4,029
			228.3%/A	208.9%/A	225.3%/A	251.8%/A
4	ひょうご e-県民登録者数(県外) [人]	19,855	35,000	45,000	55,000	60,000
			30,317	36,642	38,803	37,804
			86.6%/C	81.4%/C	70.6%/C	63.0%/D

### 項目3 外国人材の活躍推進

#### (1) 高度外国人材の受け入れ促進

主な事例	外国人留学生の県内企業への就職促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な技術力や知識を有する外国人留学生の県内就職を促進するため、留学生の採用を検討する県内企業や留学生本人からの相談に対応し、採用から採用後の職場定着までを支援する「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」を設置(R5. 5. 12)</li> </ul>	
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">                     相談件数：430 件(令和6年3月末現在)                      [外国人留学生]           186 件(172 人)                      [企業・経済団体等]   244 件(212 団体)                 </div>	
	
相談窓口の開所式(R5. 5. 12)	

主な事例	外国人留学生への情報発信や外国人雇用企業への制度理解の促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内中小企業の人手不足に対応するため、県内外の外国人留学生を対象とした「兵庫の企業魅力発信フェア」や「合同企業説明会」等、県内企業とのマッチング機会を創出し、人材確保対策を実施</li> <li>企業における円滑な外国人雇用を支援するため、セミナーを通じた制度の理解促進や、サポートデスクによる相談対応等を実施</li> </ul>	
	
合同企業説明会の様子	

#### (2) 外国人材の県内定着の促進

主な事例	外国人県民向け生活相談を実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員による生活・専門相談、情報提供及び電話による外部通訳等を活用した11言語による生活相談・情報提供を実施し、外国人県民が暮らしやすい生活基盤づくりを推進(R5 ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数：3,551 件)</li> </ul>	

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	外国人材の受入数(専門的・技術的分野) [人]	7,881	7,400	8,550	9,700	12,000
			8,771	10,076	12,809	15,658
			118.5%/A	117.8%/A	132.1%/A	144.3%/A
2	外国人材の受入数(特定技能) [人]	50	2,400	4,800	7,200	9,600
			853	2,548	5,052	7,619
			35.5%/D	53.1%/D	70.2%/C	79.4%/C
3	県立大学の海外留学生数(受入人数) [人]	224	350	350	250	250
			234	231	256	266
			66.9%/D	66.0%/D	102.4%/A	106.4%/A
4	県内中小企業等に就職した留学生数 [人]	659	600	600	600	600
			854	1,002	1,089	(R6. 12 月)
			142.3%/A	167.0%/A	181.5%/A	-
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合 [%]	25.7	26	27	28	29
			29.5	30.5	23.0	22.7
			113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C	78.3%/C

## 戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大プログラム)

### 1 目標

- ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する(R1:1.41)
- ②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す

### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 合計特殊出生率	%	目標	—	1.41	1.41	1.41	1.41	
		実績	1.41	1.39	1.36	1.31	1.29	
		評価	—	99.3%/B	96.5%/B	92.9%/B	91.5%/B	
2 婚姻件数	件	目標	—	25,000	25,500	26,000	26,500	
		実績	25,109	21,964	20,938	20,844	19,629	
		評価	—	87.9%/C	82.1%/C	80.2%/C	74.1%/C	

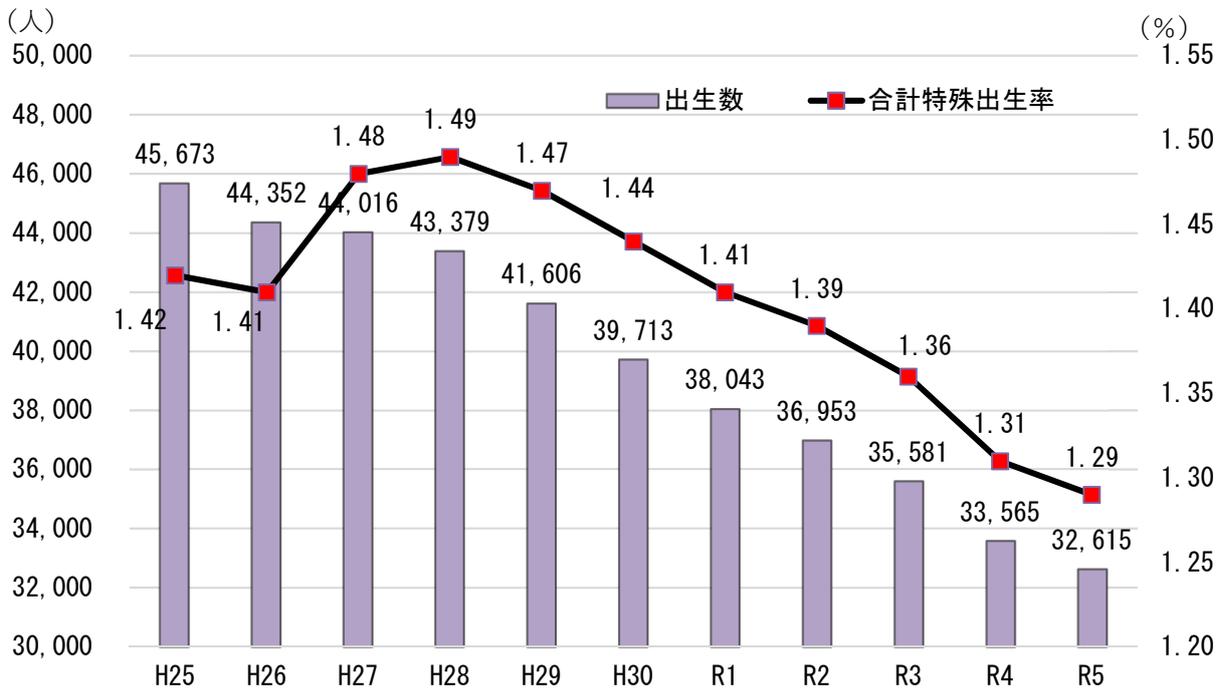
#### 〈状況分析〉

- ・合計特殊出生率は、晩婚化、晩産化等により平成28年度の1.49をピークに低下が続き、令和5年は、前年比0.02ポイント減の1.29(概数ベース)となり、平成29年から7年連続で低下した。
- ・婚姻件数は、令和元年度は令和婚の影響もあり増加となったが、令和2年以降は減少傾向にある。

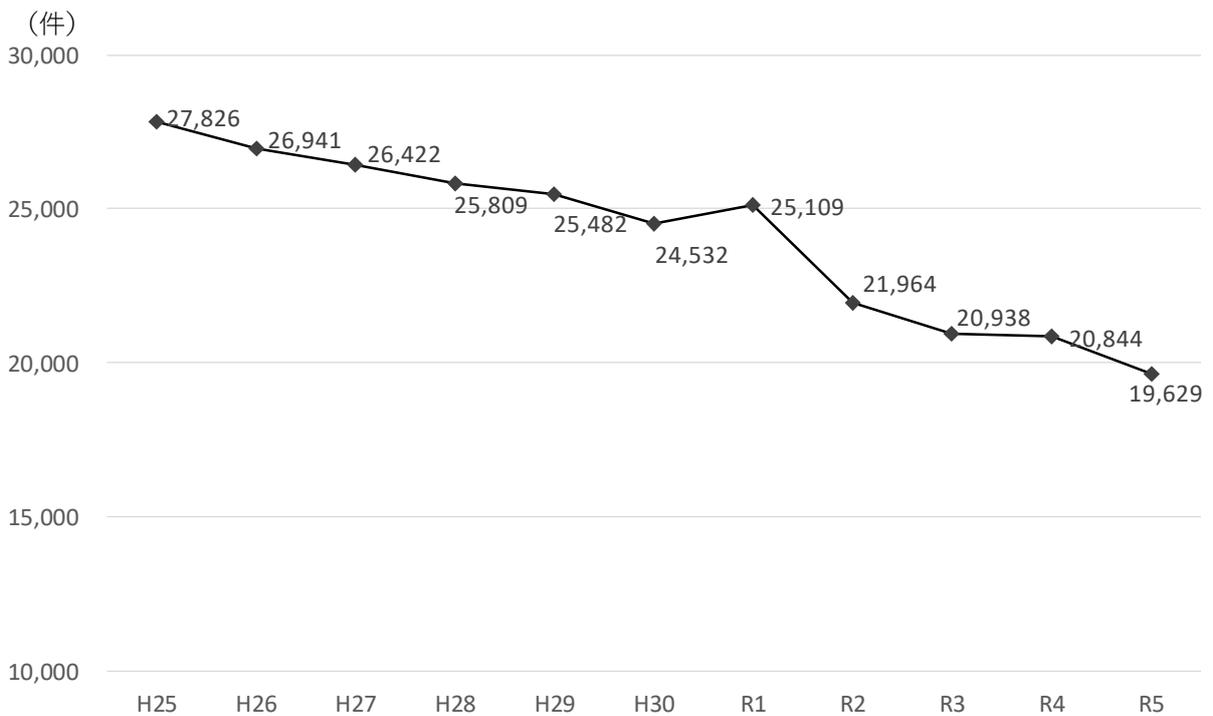
### 3 今後の取組方向性

- 若者や子育て世代が抱える不安を取り除き、活力ある未来を展望できるよう、出会い支援や不妊治療の支援強化、子育て支援の充実、安心して子育てができる地域づくりなど結婚・出産・子育ての各ライフステージに応じた切れ目ない支援を総合的に推進する。

### 【出生数と合計特殊出生率の推移】



### 【婚姻件数の推移】



## 重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 結婚願望がある者の割合	%	目標	—	—	—	—	66.6%	
		実績	⑩60.5%	—	—	—	39.1%	
		評価	—	—	—	—	58.7%/D	
2 住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	
		実績	55.4%	58.3%	58.8%	55.5%	52.4%	
		評価	—	105.0%/A	100.8%/A	95.2%/B	94.4%/B	
3 保育所待機児童数	人	目標	—	0人	0人	0人	0人	
		実績	1,569人	769人	311人	241人	256人	
		評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D	
4 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の待機児童数	人	目標	—	0人	0人	0人	0人	
		実績	954人	911人	923人	1,015人	992人	
		評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D	

### 今後の取組方向

- 結婚を希望する人のマッチングによる多様な出会い支援を推進する。
- 悩みを抱える妊婦等の孤立防止や不妊治療への支援強化など、安心して妊娠、出産できる環境の充実整備を推進する。
- 子育て世代への住宅・住環境確保、高等教育の経済的負担の軽減など、若者や子育て世代への総合的な支援を促進する。

## 項目1 結婚のきっかけづくり

### (1) 出会い・結婚支援の充実

主な事例	出会いと結婚支援の充実
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の要因である晩婚化・未婚化の進行への対策として、出会いや結婚を望む方を支援するため、「ひょうご出会いサポートセンター」を設置し、AIによるマッチングシステムを活用した個別お見合い支援や、民間事業者・市町と連携した出会いイベント等の取組を実施 (R5 会員登録者数：3,159 人、R5 成婚数：73 組)</li> <li>・新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(新居の家賃、引っ越し費用等)を支援する市町を対象に、支援額の一部を補助 (R5: 21 市町で実施)</li> </ul>



出会いイベントの様子

主な事例	大学生等ライフプランニング教育の実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次代を担う人材を育成・確保するため、地方回帰やワークライフバランスの浸透等、本県をとりまく社会潮流を踏まえ、就職・結婚・子育ての3大ライフイベント等について考える機会を創出</li> </ul>



甲南大学での実施の様子

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	出会いイベントの参加者数 [人]	4,782	7,000	7,000	2,000	4,000
			1,943	2,099	1,907	1,290
			27.8%/D	30.0%/D	95.3%/B	32.3%/D
2	出会いサポートセンター会員数 [人]	4,176	5,000	7,000	3,500	4,000
			3,562	3,306	3,094	3,159
			71.2%/C	47.2%/D	88.4%/C	78.9%/C
3	出会い支援事業等の成婚者数(県・市町の統合指標) [組]	530	355	355	355	355
			169	137	148	106
			47.6%/D	38.6%/D	41.7%/D	29.9%/D
4	20~30歳代女性の転入超過数(日本人) [人]	▲3,385	▲2,708	▲2,031	▲1,354	▲677
			▲3,786	▲2,933	▲3,468	▲3,465
			— /D	— /D	— /D	— /D

## 項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

### (1) 妊娠・出産の不安解消

主な事例	不妊や予期せぬ妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予期せぬ妊娠など妊娠・出産・育児に悩みや不安を抱える方やその家族等が、電話やメール、LINE 面談、受診同行など、24 時間 365 日安心して専門家に相談できる窓口を設置(R5 相談件数 16,421 件)</li> <li>・ 安心して子どもを産み育てられる社会の実現のため、不妊・不育症に悩む方に対する検査・治療費用への支援拡大や、県民理解を深めるための動画等を活用した普及啓発を実施</li> <li>・ 経済的に困窮し身近に頼る人や住む家がない等課題を抱える妊産婦が、頼れる居場所に出会い、安心して出産でき、自立や夢を実現できるよう支援</li> </ul>	 <p>兵庫県不妊治療応援サイト 「妊活はじめの一步」</p>

### (2) 子育てや教育に係る負担の軽減

主な事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」(対象:小学3年生まで)及び「こども医療費助成事業」(対象:小学4年生から中学3年生まで)を実施し、医療に係る負担を軽減(対象者数 R4:525,948 人、R5: 509,666 人)</li> <li>・ 幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援(R5: 延べ1,226 人を支援)</li> </ul>	

### ○主な政策アウトカム指標 (上段:目標、中段:実績、下段:評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	推計値(目標)と合計特殊出生率(実績)との差	1.41	0(1.41)	0.03(1.38)	0.05(1.36)	0.07(1.34)
			▲0.02(1.39)	▲0.02(1.36)	▲0.05(1.31)	▲0.05(1.29)
			— /D	— /D	— /D	— /D
2	周産期母子センター・地域周産期病院の指定数 [箇所]	31	31	31	31	31
			31	30	30	29
			100.0%/A	96.8%/B	96.8%/B	93.5%/B
3	里親登録者数 [人]	403	464	509	554	599
			433	478	517	546
			93.3%/B	93.9%/B	93.3%/B	91.2%/B
4	児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合 [%]	54.3	—	—	58.7	—
			—	—	49.4	(次回 R7)
			—	—	84.2%/C	—

### 項目3 子育て応援社会の形成

#### (1) 誰もが安心して働くことができる保育環境等の充実

主な事例	放課後児童クラブの充実や男性の家事・育児への参画促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実(R5 利用児童: 59,754人)</li> <li>・ 子育てに優しい職場づくりフォーラムや、男性が家事・育児に親しみながらスキルを上げるためのセミナーの開催等、企業及び当事者の意識改革を促し、男性の家事・育児への参画を促進</li> </ul>	
	
イクメンサポートセミナーの様子	
<p>【セミナー実施例】</p> <p>子育てに優しい職場づくりフォーラム、子育て応援出前講座、イクメンサポートセミナー</p>	

#### (2) 子育て家庭を見守る地域づくり

主な事例	「乳幼児子育て応援事業」など、全ての子育て家庭を対象とした支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業(0~2歳児)」など、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施(R5 実施箇所: 514園)</li> <li>・ 経済的な理由等により食事が十分に取れていない子どもに食事を提供する「子ども食堂」の立ち上げ経費の助成や、ヤングケアラー・若者ケアラーの早期発見、悩みの相談支援、福祉サービスへの円滑なつなぎ等のための支援体制構築を推進</li> </ul>	
	
子ども食堂の様子	

#### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	保育所・認定子ども園等定員数(累計) [人]	115,268	115,000	118,000	120,000	121,000
			119,108	121,964	123,660	124,692
			103.6%/A	103.4%/A	103.1%/A	103.1%/A
2	保育士・保育教諭、幼稚園教諭数 [人]	[保]19,684 [幼] 4,140	[保]20,200	[保]20,900	[保]21,200	[保]21,300
			[幼] 4,096	[幼] 4,054	[幼] 4,013	[幼] 3,973
			[保]20,688	[保]21,711	[保]21,366	[保](R6.12月)
			[幼] 4,045	[幼] 3,969	[幼] 3,944	[幼] 3,756
			[保]102.4%/A	[保]103.9%/A	[保]100.8%/A	[保]-
			[幼] 98.8%/B	[幼] 97.9%/B	[幼] 98.3%/B	[幼] 94.5%/B
3	病児・病後児保育の不足量 [人日]	▲20,570	需給均衡	需給均衡	需給均衡	需給均衡
			▲60,779	▲65,698	▲66,443	▲59,134
			-/A	-/A	-/A	-/A
4	夫の育児・家事分担時間 [分]	85 ※H28	R7年度までに120分			
			-	94	-	(次回R8)
			-	78.3%/C	-	-

## 戦略 4 自然増対策(健康長寿対策)(健康寿命延伸プログラム)

### 1 目標

- ①平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ②運動を継続している人の割合を高める

### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
				R2	R3	R4	R5
1 平均寿命と健康寿命の差	年齢差	目標	—	—	—	—	R6に 男性：1.40 女性：3.13 未満
		実績	男性：1.48 女性：3.20	男性：1.44 女性：3.16	男性：1.39 女性：3.06	R6年度中	R7年度中
		評価	—	—	—	—	—
2 運動を継続している人の割合	%	目標	—	73.0	75.0	64.4	65.8
		実績	62.7	65.5	63.0	67.8	61.0
		評価	—	89.7%/C	84.0%/C	105.3%/A	92.7%/B

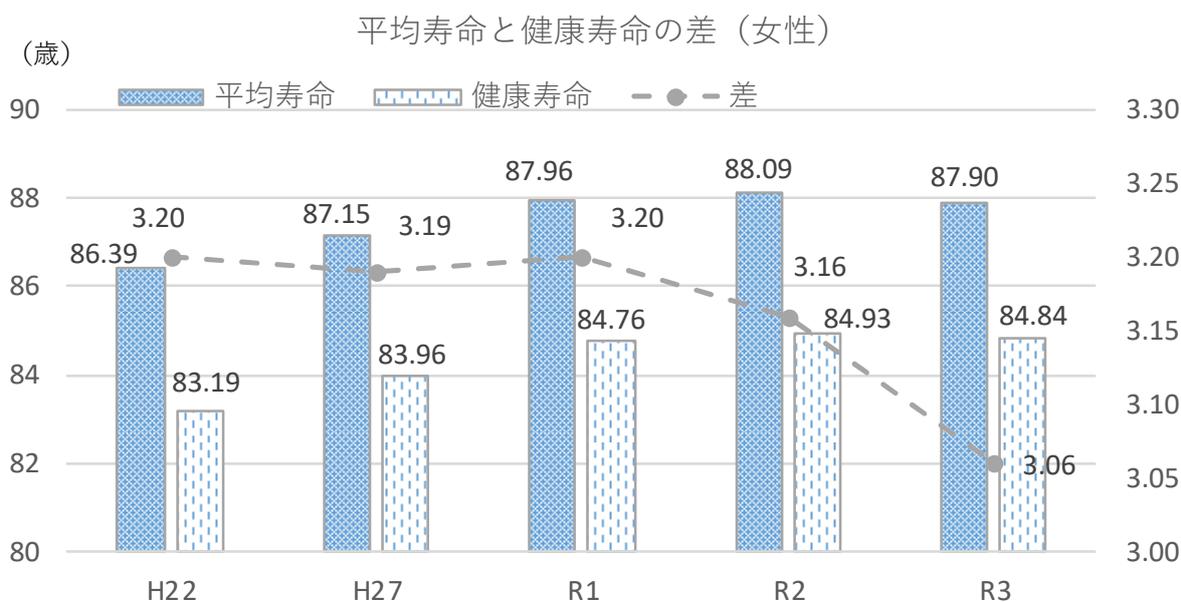
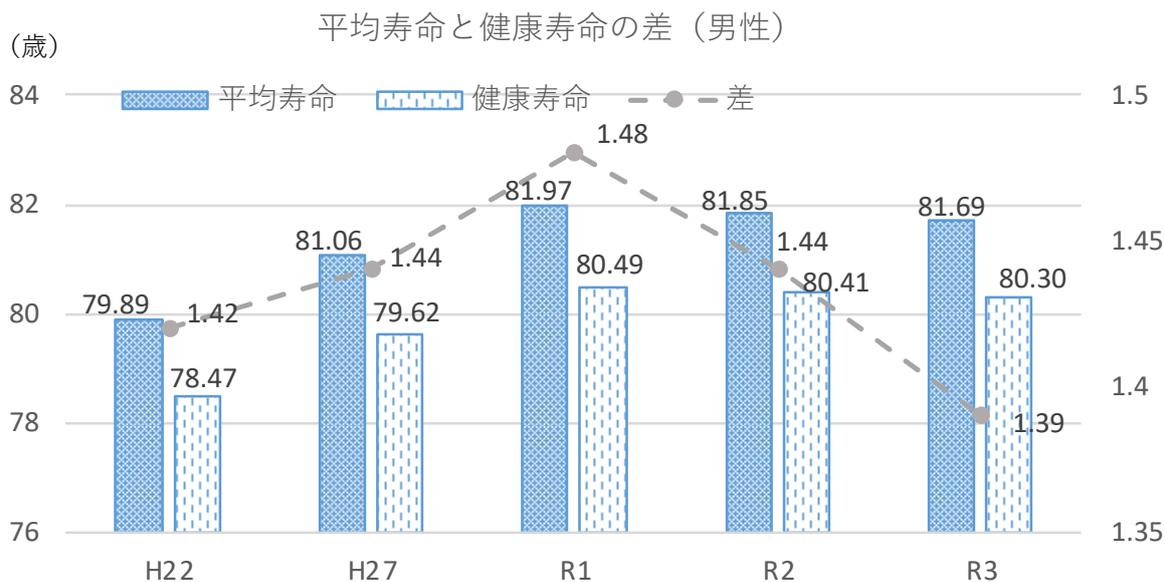
#### 〈状況分析〉

- ・平均寿命と健康寿命は男女いずれも延伸しているが、令和元年をピークに平均寿命と健康寿命の差は男女いずれも縮小傾向となっている。
- ・運動を継続している人の割合は61.0%と昨年度より6.8ポイント低下したが、コロナ禍の影響を考慮すると長期的にはやや横ばいとなっている。

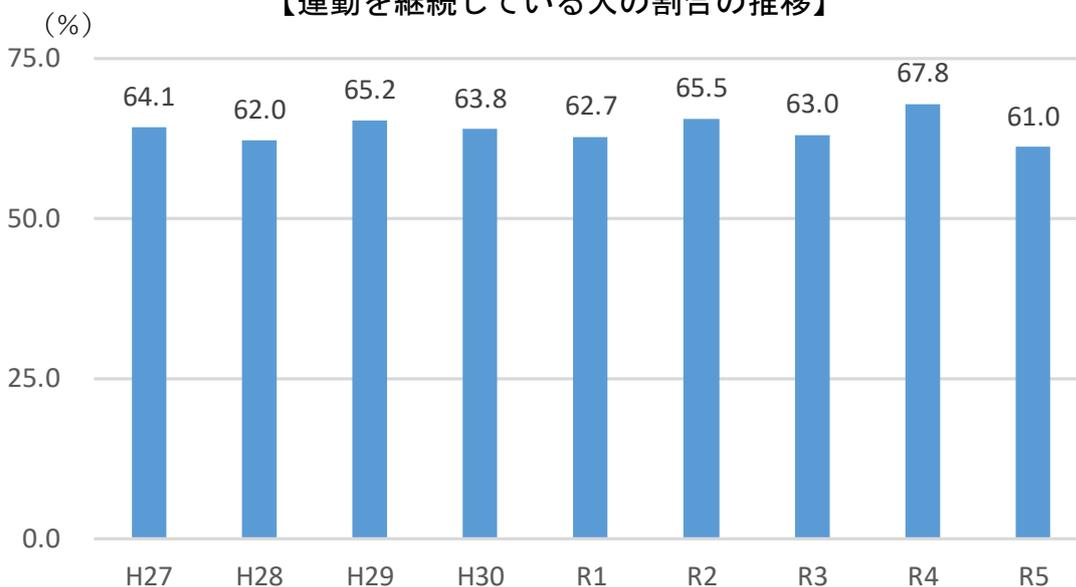
### 3 今後の取組方向性

- 高齢化が進む中、県民が安心して健康に過ごせるよう、生活習慣の改善や、がん・認知症の予防・早期発見の推進、地域医療・介護体制の構築を引き続き着実に進める。
- 運動機会の増進に向け、運動習慣の形成や環境整備を推進する。

### 【健康寿命、平均寿命の推移（男女別）】



### 【運動を継続している人の割合の推移】



## 重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(目標) R1	計画期間				
				R2	R3	R4	R5	
1 がんによる 75歳未満の 年齢調整死 亡率	%	目標	—	—	—	—	—	全国平均より 5%低い状態
		実績	全国平均よりも 3.1%低い状態 国 70.0% 県 67.8%	全国平均よりも 0.9%低い状態 国 69.6% 県 69.0%	全国平均よりも 0.7%低い状態 国 67.4% 県 66.9%	全国平均よりも 3.9%低い状態 国 67.4% 県 64.7%	(R7.3月)	
		評価	—	—	—	—	—	
2 朝食を食べ る人の割合	%	目標	—	—	—	—	—	R6年度までに 【20歳代男性】 57%以上 【20歳代女性】 76%以上
		実績	【20歳代男 性】⑦51.4% 【20歳代女 性】⑦69.2%	【20歳代男性】 57.1% 【20歳代女性】 75.8%	【20歳代男性】 47.0% 【20歳代女性】 64.9%	【20歳代男性】 61.3% 【20歳代女性】 66.7%	【20歳代男性】 54.7% 【20歳代女性】 56.2%	
		評価	—	—	—	—	—	
3 認知症相談 医療機関の 登録数	箇所	目標	—	2,186箇所	2,202箇所	2,218箇所	2,234箇所	
		実績	2,168箇所	2,138箇所	1,937箇所	1,955箇所	1,731箇所	
		評価	—	97.8%/B	87.9%/C	88.1%/C	77.5%/C	
4 75歳以上人 口に占める 要介護認定 率	%	目標	—	—	—	—	R6年度に 34.6%	
		実績	34.3%	34.6%	34.5%	(R6.9月)	(R7.8月)	
		評価	—	—	—	—	—	
5 高齢者(65 歳～74歳) の有業率	%	目標	—	—	—	38.3	R9 国を上回る	
		実績	⑨32.7%	—	—	37.3	(次回R9)	
		評価	—	—	—	97.4%/B	—	

### 今後の取組方向

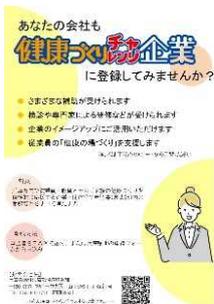
- 県民の主体的な健康づくりによる生活習慣改善や、生活習慣病の早期発見、早期治療につなげる取組を引き続き促進するとともに、高齢化の進展による医療介護の需要拡大や人口減少に伴う社会の担い手不足に対応するため、効率的で質の高い医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を推進する。
- 認知症の医療体制の充実や支援体制構築により、備えから早期発見、早期対応の取組を一体的に推進する。
- 元気高齢者が社会の担い手として活躍できるよう、高齢者の就労、地域活動参加などの環境整備を促進する。

## 項目1 健康づくりの推進

### (1) 疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

主な事例	がん検診の推進など疾病の予防・早期発見・早期治療の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の「受診しやすい環境づくり」に取り組む事業所を支援するため、健康づくりチャレンジ企業のうち従業員数が300人以下の事業所及び県内の従業員数100人以下の事業所等において、従業員やその被扶養者ががん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)を受診した場合に、その費用の一部を助成(R5助成:177企業、12,409人)</li> <li>ライフステージに応じた施策を展開するとともに、「歯及び口腔の健康づくり推進条例(R4.4月施行)」に基づき、生涯にわたる切れ目のない歯と口腔の健康づくりを推進</li> </ul>	 <p>歯及び口腔の健康づくり推進条例 啓発チラシ</p>

### (2) 生活習慣の改善促進

主な事例	生活習慣の改善促進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業を「健康づくりチャレンジ企業」として登録(R4:2,163社、R5:2,269社)</li> <li>登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診助成などの取組支援を実施(企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R4:168社、R5:151社)</li> </ul>	 <p>「健康づくりチャレンジ企業」チラシ</p>

### ○主な政策アウトカム指標(上段:目標、中段:実績、下段:評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	特定健診受診率 [%]	51.7	50	52	55	60
			49.7	52.7	54.3	(R7中)
			99.4%/B	101.3%/A	98.7%/B	-
2	特定保健指導実施率 [%]	20.1	20	25	30	35
			20.1	22.7	23.9	(R7中)
			100.5%/A	90.8%/B	79.7%/C	-
3	がん検診受診率 [%]	胃がん :44.1% 肺がん :44.6% 大腸がん :42.5% 子宮頸がん:39.1% 乳がん :42.1%	50	50	50	50
			-	-	胃がん :35.8 肺がん :44.2 大腸がん :43.2 子宮頸がん:38.9 乳がん :42.8	-
			-	-	胃がん :71.6/B 肺がん :88.4/B 大腸がん :86.4/B 子宮頸がん:77.8/B 乳がん :85.6/B	(R7中)
4	健康づくりチャレンジ企業登録数 [社]	1,681	1,500	1,500	1,500	1,800
			1,866	2,012	2,163	2,269
			124.4%/A	134.1%/A	144.2%/A	126.0%/A

## 項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

### (1) 認知症対策の推進

主な事例	認知症予防・早期発見の推進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症予防教室をより効果的に展開するため、先進的な研究成果に基づくプログラムの活用や、客観的データを用いた効果検証・事業評価に取り組む市町に財政支援を実施(R5: 5市町)</li> <li>身近な相談窓口として市町による認知症相談センターの設置を促進(R6.3月末現在:260カ所)し、同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に研修等の技術支援を実施(R5: 1回)</li> <li>認知症の本人に「ひょうご認知症希望大使」を委嘱し、普及啓発活動や当事者の意見を反映した認知症施策の展開等を推進</li> </ul>
	 <p>ひょうご認知症希望大使委嘱式</p>

### (2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

主な事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組支援や、住民主体の取組が県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議の開催、市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の取組を推進</li> <li>筋力維持を図り、健康二次被害を予防するため、健康スポーツ医や健康運動指導士等と連携し、地域高齢者の通いの場等を活用した運動指導を実施(R5: 3市町)</li> <li>介護ロボットの導入や人材確保等に係る介護現場の生産性向上に関する相談等に対応する「ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター」を設置し、既存事業に生産性向上の視点を加えることで、介護の質の向上や働きたい職場づくりを推進</li> </ul>
	 <p>ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター</p>

### ○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	認知症相談センターの相談件数 [件]	12,205	12,400	12,600	12,800	13,000
			11,843	11,600	12,524	13,527
			95.5%/B	92.1%/B	97.8%/B	104.1%/A
2	居宅サービス利用者数 [人]	502,357	(R7年に419,372)			
			512,086	533,655	(R6.9月)	(R7.8月)
			-	-	-	-
3	在宅看取り率 [%]	28.2	27	28.8	29.1	29.4
			30.6	33.7	34.8	(R6.10月)
			113.3%/A	117.0%/A	119.6%/A	-

### 項目3 元気高齢者の社会参加の促進

#### (1) 元気高齢者の社会参加の促進

主な事例	シニア世代の就労支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご・しごと情報広場に「シニア世代就労相談窓口」を設置し、就労意欲のあるシニア世代がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援</li> <li>・高齢者・女性等の地域住民が介護保険施設や訪問介護事業所等で研修期間を設けて介護の周辺業務に従事する「ひょうごケア・アシスタント制度」等により、介護現場への多様な人材の参入を推進</li> </ul>	 <p>シニア世代就労相談窓口の様子</p>

#### (2) 定年退職後の高齢者の就業機会確保

主な事例	定年退職後の高齢者の就業機会確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職後などの高齢者の就業ニーズに対応した臨時的・短期的な就業機会の拡充を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参画を推進するため、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援 (会員数 R4:40,240人、R5:35,403人)</li> </ul>	

#### (3) 高齢者の生涯学習支援

主な事例	高齢者の学習機会確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生涯学習の場として、また地域貢献活動へ参画するきっかけとして、高齢者大学を運営(R5 受講者数:2,219名)</li> <li>・ICTを活用し、いなみ野学園等でのオンラインによる教養講座を開催し、著名な講師を招くなど魅力ある講座を実現するとともに、動画配信等による在宅学習の普及を推進し、場所を選ばずに学びが継続できる体制を確保</li> </ul>	 <p>近隣高校と連携した高齢者大学講座</p>

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間			
			R2	R3	R4	R5
1	シルバー人材センター事業における就業実人員数【人】	34,232	35,000	35,000	35,000	35,000
			31,997	31,104	30,239	29,476
			91.4%/B	88.9%/C	86.4%/C	84.2%/C